

2024年12月期 第1四半期 決算補足説明資料

井関農機株式会社

2024年5月15日

1. 2024年12月期第1四半期 業績の概要
2. 2024年12月期 業績予想



食と**農**と**大地**の
ソリューションカンパニー

1. 2024年12月期第1四半期 業績の概要



<第1四半期業績>

海外伸長、営業黒字

海外 : 欧州は続伸
過去最高売上高を更新中

国内 : 主に農機製品で減収

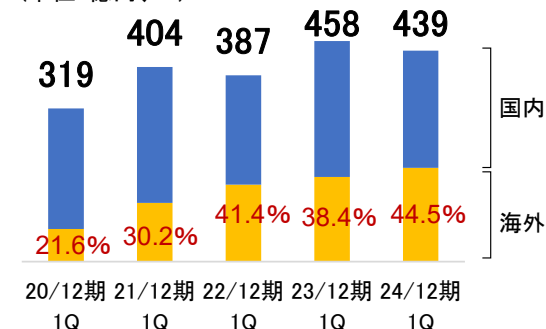
収益 : 国内減収・減産により売上総利益減少も、国内外価格改定効果や欧州の続伸、為替影響など、黒字を確保

<通期業績予想>

当初予想から変更なし

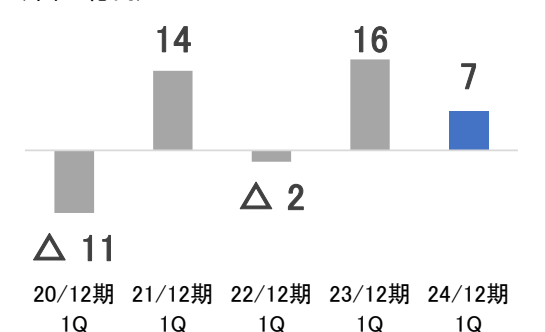
売上高推移(第1四半期)

(単位: 億円、%)



営業利益推移(第1四半期)

(単位: 億円)



連結業績の概要

(単位:億円、%) (2024年1月1日～ 2024年3月31日)	20/12期 1Q実績	21/12期 1Q実績	22/12期 1Q実績	23/12期 1Q実績	24/12期 1Q実績	前年 同期比	
売上高	319	404	387	458	439	△ 19	
(国内)	250	282	227	282	243	△ 38	
(海外)	68	122	160	176	195	+ 19	
売上総利益	90	117	108	137	130	△ 7	
売上総利益率	28.2%	29.1%	27.9%	30.0%	29.7%	△ 0.3%	
営業利益	△11	14	△2	16	7	△ 9	
営業利益率	△3.5%	3.7%	△0.6%	3.7%	1.7%	△ 2.0%	
経常利益	△12	21	0	13	9	△ 3	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△4	19	2	7	4	△ 2	
為替平均 レート (円)	米ドル	109.6	104.4	114.8	132.3	146.9	+14.6
	ユーロ	120.8	126.8	130.1	141.9	159.9	+18.0

国内売上高

前年同期比
△38億円

主に農機製品で減収

(単位:億円)		20/12期 1Q実績	21/12期 1Q実績	22/12期 1Q実績	23/12期 1Q実績	24/12期 1Q実績	前年 同期比
農機 製品 関連	整地機	57	66	58	70	58	△ 12
	栽培機	17	25	16	21	16	△ 4
	収穫調製機	20	24	20	39	26	△ 12
	小計	95	116	96	131	101	△ 29
	作業機	41	59	40	47	44	△ 2
	部品	29	30	29	33	32	△ 1
	修理収入	11	11	11	11	11	0
	小計	82	102	81	92	88	△ 3
	計	178	218	177	223	190	△ 33
	施設工事	26	14	7	12	7	△ 5
その他農業関連	46	50	42	46	45	0	
合計	250	282	227	282	243	△ 38	

主な増減要因

✓ 農機製品:
前年同期は4月の価格改定に伴う駆け込み需要で伸長したが、当期は改定時期を1ヶ月前倒ししたこともあり減少

➤ 当社農機製品価格改定

時期	値上げ幅
2022年6月	約3%
2023年4月	約5%
2024年3月	約3%

海外売上高

前年同期比
+19億円

欧州は続伸
過去最高売上高を更新中

(単位:億円)	20/12期 1Q実績	21/12期 1Q実績	22/12期 1Q実績	23/12期 1Q実績	24/12期 1Q実績	前年 同期比
北米	23	39	46	38	33	△ 5
欧州	24	59	78	110	140	+ 30
アジア	20	22	35	21	19	△ 2
その他	0	0	1	5	2	△ 2
連結売上高 合計	68	122	160	176	195	+ 19

主な増減要因

- ✓ 北米：コンパクトトラクタ市場の調整局面が継続し減少
- ✓ 欧州：仕入商材の拡充とプレシーズンの需要を確実に捉え伸長
- ✓ アジア：中国では排出ガス規制による反動減から回復したが、アセアン・韓国での需要軟調による受注減で減少

営業利益増減要因

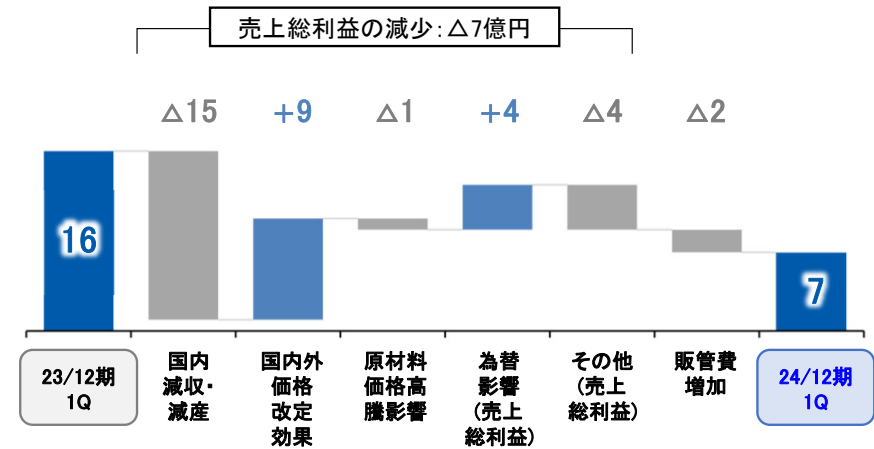
前年同期比

△9億円

国内減収・減産により売上総利益減少も、
国内外価格改定効果や欧州の続伸、為替影響など、黒字を確保

(単位:億円、%)	20/12期 1Q実績	21/12期 1Q実績	22/12期 1Q実績	23/12期 1Q実績	24/12期 1Q実績	前年 同期比
売上高	319	404	387	458	439	△ 19
売上総利益	90	117	108	137	130	△ 7
売上総利益率	28.2%	29.1%	27.9%	30.0%	29.7%	△ 0.3%
販管費	101	103	110	120	123	+ 2
人件費	60	60	64	67	69	+ 2
その他経費	40	42	46	53	53	0
営業利益	△11	14	△2	16	7	△ 9
営業利益率	△3.5%	3.7%	△0.6%	3.7%	1.7%	△ 2.0%

【営業利益増減内訳(前年同期比)】



【為替影響(億円)】

売上	原価	販管費	営業利益
+17	△13	△2	+2

経常利益、四半期純利益

経常利益
前年同期比
△3億円

金融収支好転や為替差益の増加などにより、減益幅は営業利益比縮小

(単位: 億円)	20/12期 1Q実績	21/12期 1Q実績	22/12期 1Q実績	23/12期 1Q実績	24/12期 1Q実績	前年 同期比
営業利益	△11	14	△2	16	7	△ 9
金融収支	△1	△1	△1	△5	△3	+ 2
その他営業外損益	0	8	4	1	5	+ 3
経常利益	△12	21	0	13	9	△ 3
特別利益	1	0	0	0	0	0
特別損失	0	0	0	0	0	0
税前利益	△11	20	0	12	8	△ 3
税、税調整額	7	△1	2	△5	△4	+ 1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△4	19	2	7	4	△ 2

その他営業外損益増減内訳(前年同期比)

為替差益	+1億円
持分法による投資損失	+1億円

前年同期末比 棚卸資産：前年同期末比増、1Qの増加幅は抑制

(単位:億円)	23/3月末	24/3月末	増減		23/3月末	24/3月末	増減
現金	92	130	+ 38	仕入債務	451	359	△ 92
売上債権	380	350	△ 30	有利子負債	803	867	+ 63
棚卸資産	684	737	+ 53	(借入金)	(733)	(794)	(+60)
その他流動資産	59	41	△ 18	その他負債	208	305	+ 97
流動資産計	1,216	1,260	+ 43	負債計	1,463	1,532	+ 68
有形固定資産	838	842	+ 3	純資産	727	750	+ 23
無形固定資産	24	24	0	(利益剰余金)	(211)	(202)	(△9)
投資その他資産	111	156	+ 44				
固定資産計	974	1,022	+ 48				
資産合計	2,191	2,283	+ 92	負債・純資産計	2,191	2,283	+ 92

【期初からの棚卸資産増減推移(億円)】

	20年	21年	22年	23年	24年
期初からの増減	+52	+16	+48	+31	+9

2. 2024年12月期 業績予想



2024年12月期 連結業績予想



連結 業績予想

第1四半期は当初想定の範囲内で、業績予想の修正なし

(単位:億円、%)		19/12期	20/12期	21/12期	22/12期		23/12期		※24/12期		前期比
		実績	実績	実績	実績	比率	実績	比率	予想	比率	
売上高		1,498	1,493	1,581	1,666	100.0	1,699	100.0	1,700	100.0	0
	(国内)	1,177	1,159	1,173	1,126	67.6	1,130	66.5	1,150	67.6	+ 19
	(海外)	321	333	407	539	32.4	568	33.5	550	32.4	△ 18
営業利益		27	20	41	35	2.1	22	1.3	20	1.2	△ 2
経常利益		11	17	46	37	2.3	20	1.2	10	0.6	△ 10
親会社株主に帰属する 当期純利益		7	△56	31	41	2.5	0	0.0	4	0.2	+ 3
為替平均 レート(円)	米ドル	109.3	107.0	109.0	131.3		139.4		140.0		+ 0.6
	ユーロ	121.6	121.5	129.8	136.9		148.6		150.0		+ 1.4
期末配当(円)		30	0	30	30		30		30		-

※24/12期予想:2024年2月14日公表予想

将来の見通しに関する記述についての注意

- ・本資料は、情報提供を目的として作成しており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、潜在的风险や不確実性が含まれており、経済情勢や市場動向の変化等により実際の結果と必ずしも一致するものではありません。
- ・ご利用に際しては、ご自身の判断でお願い致します。

本資料に掲載している業績予想や目標数値に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。



未来の
ために、
いま選ぼう。

井関グループは、
環境省による地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を
促す国民運動である【COOL CHOICE】の取組みに賛同しています。
「賢い選択」の提案として「エコ商品」など
環境に配慮した商品の開発普及を推進しています。

食から日本を考える。

**NIPPON
FOOD
SHIFT**